

# 平成 26 年度 第 2 回津島市地域教育協議会議事録

平成 27 年 3 月 12 日 (木) 16:00～

神守中学校 校長室

司会：教頭

<参加者> (教育長、指導主事、参与、本部長、副本部長、コーディネーター 2 名、相談役、校長、教頭)

<次第>

## 1 開会の言葉

## 2 教育長あいさつ

\* 卒業式が立派にできたと議員さんからも賞賛の言葉をいただいた。H26 年度より神守中の豆ボラを手本として、市内全小中学校に地域本部の創設を行い、できる範囲で取り組んでいる。H27 年度からは正式に教育委員会に津島市学校支援本部を設置し、トータルコーディネータを配置する。H27 年度から文科省の事業である「地域未来塾」を豆ボラ神守に受けてもらおうと申請した。神守中学校には、この他にも「学校連携の仲間作り事業」にも取り組んでもらうことになっている。

## 3 本部長あいさつ

\* 豆ボラも H22 年 10 月に発足して以来 4 年半が経過した。3 月 11 日の東日本大震災から早 4 年が経過。東北の岩手県大船渡市へボランティアに出かけたのがつい昨日の日のことである。赤崎中とのつながりや、東南海大地震に備え、子どもの力を借りて防災を考え、東日本のことも念頭におきながら、更に飛躍したいと思っている。教育長さんの市内全校への学校支援地域本部の波及は大いに歓迎したい。

## 4 校長あいさつ

\* 東日本大震災から 4 年目を迎え、豆ボラも 4 年が経過。赤崎中の跡地も更地になり、高台へ移転してプレハブ校舎で頑張っている。今年度は交流ができなかったが、再度取組たい。この 1 年は、神守中から離れ、2 年後に再会した神守中であつたが、校内や地域で自然に挨拶できる生徒の姿があり、大きく変わった。学校は家庭や地域とつなぐところ。今後も推し進めたい。また、今年度は、「子とともに you&you」の編集に携わっているので、巻頭カラーページに、生徒が地域でボランティア活動している姿を掲載したい。

## 5 協議事項

### (1) 平成 26 年度事業報告について

①事業報告について・・・第 6 回実行委員会議事録 活動報告参照のこと

②本部長から

ア. 事業の効果

\* 生徒と地域と一緒に活動していることが特筆できる。

\* 外国人支援が今年度からスタートしたが、大学生が外国人のために九九の表を日本語標記と英語表記で冊子を作って、指導している姿があつた。将来、外国人が増えることを想定し、学生にもよい経験となった。

イ. 各担当サポートでの問題点等

③コーディネーターから <26 年度の特徴的な取組>

ア. 県内外の地域本部との情報交流

福岡県筑紫野中学校区、北名古屋市、豊田市浄心北小校区、春日井市藤山台中校区、

\* 筑紫野中の HP を見る限り、早速、ドテラと同じような土曜学習支援や校内巡視活動を取り入れ、豆ボラでの学びが全国に広がっているのを実感した。役に立ち、非常に嬉しい。

北名古屋市とはコーディネーターとの交流を定期的に続けている。豊田市は行政の方の

努力により、独自の学校支援が展開され、これも嬉しい限りである。春日井市は、情報交換をして、新しい学校設立に向け、目下検討中である。開校時に招待を約束されている。

イ. 学校のニーズとボランティアとのマッチング

\* キャリア教育では、ボランティア捜しに奔走した。当日は丸一日、参観させていただき、生徒とボランティアの交流が非常に実りあるものになった。参加した社会人ボランティアさんから、来年度も是非参加したいとの声があった。生徒の感想から生徒もボランティアさんも共に、よい経験になった。

ウ. 名城大学「東海教育実践交流研修会」にて学ボラ募集活動

\* 豆ボラの宣伝とボランティア募集に出かけた。1人で多くの箇所のボランティアをしている学生が多いことを知った。

④会計決算報告について 総予算 561,000円・・・ **資料2**

(市補助金 561,000円)

⑤全活動日数・人数集計・・・ **資料3**

\* 年間、延べ720名のボランティアの活動。

\* コーディネーターは、年間361時間超の時間を、ボランティアさんの調整や学校とのニーズの擦り合わせ、支援担当間の連絡調整などに尽力いただいた。

(2) 平成27年度の組織について・・・ **資料4** (本来は、資料4のような組織で)

\* 津島市学校支援本部が立ち上がり次第、組織を検討

(3) 平成27年度の事業案・予算案について

①平成27年度事業(案) \* 市議会での予算案通過後に決定

\* 市内の小中学校のニーズを集約し、実施可能な範囲でボランティアを市学支本部より派遣して実施

②平成27年度予算(案) \* 津島市学校支援本部予算(使途名目については現在未定)

\* 登録学生ボランティアのボランティア保険代 予算 9,000円

\* 学生ボラへの謝金 予算 300,000円

\* 通信連絡用携帯(スマホ?) 予算 100,000円

★豆ボラ神守予算 \* 561,000円

文科省 地域未来塾事業(国・県より3分の1ずつの補助金と併せて)

★豆ボラ神守の運営

津島市学校支援本部設立で変更あり

(4) 課題・その他

\* 災害対応へ、地域・ボラ・中学生と一緒に行動できるようにしていきたい。

\* 先生とボランティアさんとの交流会は顔が見えてよかったという感想が多かった。

6 連絡依頼事項

(1) 新年度の第1回津島市地域教育協議会の予定 (4月以降に市からの提案あり)

月 日 ( ) : ~ 場所: 未定

7 その他

【平成27年度の組織について（素案）】

資料4

※小学校・中学校の連携を中心に、今後メンバーを検討する。小学校も入るかも？

津島市地域教育協議会・・・（津島市単位として実施する会議）

※この事業を実施している市内の小中学校区の各代表者が集まって、お互いの校区の成果や今後の課題等の情報交換をし、各事業を推進する会議

	氏名	所属 役 務	協議会役務
1	武藤 育雄	津島市教育委員会 教育長	協議会長
2	木全 孝	津島市教育委員会 指導主事	助言・指導
3	城 和彦	神守中学校支援地域本部長	
4	長谷川よしよ	神守中学校支援地域本部 チーフコーディネーター	
5	山口 良子	神守中学校支援地域本部 サブコーディネーター	
6	小林 秋良	神守中学校長	
7		天王中学校支援地域本部長	
8		天王中学校支援地域本部 チーフコーディネーター	
9		天王中学校支援地域本部 サブコーディネーター	
10	菱田 康夫	天王中学校長	
11		藤浪中学校支援地域本部長	
12		藤浪中学校支援地域本部 チーフコーディネーター	
13		藤浪中学校支援地域本部 サブコーディネーター	
14	二村 光一	藤浪中学校長	
15		暁中学校 支援地域本部長	
16		暁中学校支援地域本部 チーフコーディネーター	
17		暁中学校支援地域本部 サブコーディネーター	
18	中森 久雄	暁中学校長	
19			津島市教育委員会 学校教育課 津島市学校支援本部 事務長